

令和2年度 事業評価書

事業概要 住民と行政の協働による環境美化と地域環境の保全に努めます

担当課 環境課
環境保全係 内線524

予算科目 4 款 1 項 3 目 1 事業 環境保全対策事業費

予算額	26,121千円	財源内訳	国庫支出金	6,237千円	県支出金	3,746千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	16,138千円
決算額	21,941千円	財源内訳	国庫支出金	5,148千円	県支出金	3,215千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	13,578千円

計画 (PLAN)

主な事業	環境保全対策事業	環境保全啓発事業
事業内容	生活環境改善事業 地下水位調査 水質調査 環境美化清掃活動 地区一斉清掃ごみ収集運搬 合併処理浄化槽設置推進	環境美化清掃活動啓発 緑のカーテン事業 環境学習推進事業
基本施策① ※①	1-6 豊かな自然を活かしたひとづくり	1-6 豊かな自然を活かしたひとづくり
基本施策② ※①	3-7 心と体安らぐ自然・住環境	3-7 心と体安らぐ自然・住環境
基本施策③ ※①	4-4 持続可能な行財政運営	4-4 持続可能な行財政運営
重点政策 ※②	① 2 ③	① 2 ③

実施 (DO)

主な事業	環境保全対策事業	環境保全啓発事業
予算額	23,136,000円	2,826,000円
決算額	19,182,203円	2,678,714円
財源 (一般財源)	11,340,632円	2,157,311円
(その他)	7,841,571円	521,403円
執行率	82.9%	94.8%
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 水質検査 7カ所 (2~4回) 環境美化清掃活動 5回実施 地区一斉清掃ごみ収集運搬 13地区 (回収量11,590kg) 合併処理浄化槽設置 36基 	<ul style="list-style-type: none"> 緑のカーテン事業 公共施設に設置 8カ所 町内協力者に配布 86世帯 緑のカーテンコンテスト 応募点数 8点 環境学習推進事業 環境共育推進事業 4事業実施

評価 (CHECK)

事業指標	合併処理浄化槽設置推進	緑のカーテン事業
目標値	51基/年	150世帯
実績値	36基/年	86世帯
達成度	未達成	未達成
担当課評価 ※③	汲取り便槽・単独処理浄化槽からの転換が前年度より進んだが、さらに推進を図りたい。	公共施設への設置や町内協力者への配布で地球温暖化防止や夏の節電対策が図れたが、参加世帯数が想定より少なかった。
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 3 ④ 5 高い	低い 1 2 3 ④ 5 高い
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 2 3 ④ 5 高い	低い 1 2 ③ 4 5 高い

改善 (ACTION)

課題	改善・対応策	推進方針 ※⑤
合併処理浄化槽の設置は汲取り便槽・単独処理浄化槽からの転換が進んでいない。	合併処理浄化槽の設置は汲取り便槽・単独処理浄化槽からの転換に係る設置者への補助金上乘せを行い、設置基数の増加を図る。	A
緑のカーテン事業は、地球温暖化防止や夏の節電対策のため実施しているのに、より多くの人に参加してもらいたいが参加世帯が少ない。	緑のカーテン事業により、地球温暖化防止につながる旨の周知を行い、住民の意識向上を図るため、苗の配布とともに資材配布の検討を行う。	A

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和2年度 事業評価書

事業概要

環境衛生対策を図るため、不法投棄ごみの対策及び食用廃油の回収、狂犬病予防接種と犬の登録を実施します

担当課 環境課
環境衛生係 内線523・525

予算科目 4 款 1 項 3 目 2 事業 環境衛生狂犬病対策事業費

予算額	1,585千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	961千円	一般財源	624千円
決算額	1,196千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	644千円	一般財源	552千円

計画 (PLAN)

主な事業	環境衛生対策事業	狂犬病予防対策事業
事業内容	食用廃油回収事業 不法投棄ごみ等対策事業 はち防護服の貸出し事業	犬の鑑札交付事業 狂犬病予防注射済票交付事業
基本施策① ※①	3-7 心と体安らぐ自然・住環境	3-7 心と体安らぐ自然・住環境
基本施策② ※①	1-1 地域で大切に育てる子育て環境	1-1 地域で大切に育てる子育て環境
基本施策③ ※①	4-4 持続可能な行財政運営	1-6 豊かな自然を活かしたひとづくり
重点政策 ※②	① 2 ③	① 2 ③

実施 (DO)

主な事業	環境衛生対策事業	狂犬病予防対策事業
予算額	947,000円	175,000円
決算額	627,070円	217,772円
財源 (一般財源)	627,070円	-426,278円
(その他)	0円	644,050円
執行率	66.2%	124.4%
事業実績	食用廃油の回収 5,580リットル 不法投棄ごみの回収 2,100kg	狂犬病予防接種 811頭 年度未登録頭数 993頭

評価 (CHECK)

事業指標	食用廃油回収量	狂犬病予防注射接種率
目標値	7,000リットル	89%
実績値	5,580リットル	82%
達成度	未達成	未達成
担当課評価 ※③	コロナ感染防止対策の外出自粛により、リサイクルではなく、廃油の可燃ごみ排出が増加した。	緊急事態宣言の発令により、例年4月実施の集合注射の実施が10月に延期されたため、接種率が減少した。
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い

改善 (ACTION)

課題	改善・対応策	推進方針 ※⑤
年3回の廃油回収では、ためる手間があるため、出しやすい環境ではない。	年4回または通年の廃油回収方法を検討する。	A B
集団接種を実施しないと接種率が下がる。	コロナ感染防止対策をしたうえで集団接種を実施する。	B

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和2年度 事業評価書

事業概要 知多南部衛生組合での事業に要する経費の分担金を支出します

担当課 環境課
環境衛生係 内線523・525

予算科目	4 款	1 項	5 目	1 事業	知多南部衛生組合分担金										
予算額	605,540千円				財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	90,594千円	一般財源	514,946千円
決算額	605,540千円				財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	90,594千円	一般財源	514,946千円

計画 (PLAN)

主な事業	知多南部衛生組合分担金		
事業内容	ごみの収集・処理、し尿処理及び火葬事業を実施するため、南知多町及び美浜町で設置した知多南部衛生組合の事業実施にかかる費用を分担します。		
基本施策① ※①	3-7	心と心安らぐ自然・住環境	
基本施策② ※①	3-4	安心な暮らしを支えるインフラ	
基本施策③ ※①	4-4	持続可能な行財政運営	
重点政策 ※②	1	2	③

実施 (DO)

主な事業	知多南部衛生組合分担金	
予算額	605,540,000円	
決算額	605,540,000円	
財源 (一般財源)	514,946,000円	
(その他)	90,594,000円	
執行率	100.0%	
事業実績	ごみの収集・処理、し尿処理及び火葬事業を実施するため、南知多町及び美浜町で設置した知多南部衛生組合の事業実施にかかる費用を分担した。	

評価 (CHECK)

事業指標	ごみの収集・処理、し尿処理及び火葬事業を適正に実施するための分担金の支払い		
目標値	12回/年		
実績値	12回/年		
達成度	達成		
担当課評価 ※③	令和3年4月からのごみ処理手数料の有料化対応、ごみ処理広域化に伴う中継施設の設置検討、火葬場事業の詳細検討を実施できた。		
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い	1 2 3 4 ⑤	高い
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い	1 2 3 ④ 5	高い

改善 (ACTION)

課題	火葬場の供用開始、広域化に伴う中継施設設置と受け入れ対応の協議は、広域環境組合と知多南部衛生組合とその構成市町で実施するため、時間と労力が必要。	
改善・対応策	工程管理と会議前の事前検討を徹底する。	
推進方針 ※⑤	B	

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和2年度 事業評価書

事業概要 海岸漂着物の清掃や篠島、日間賀島のごみ処理施設の維持管理を行います

担当課 環境課
環境衛生係 内線523・525

予算科目 4 款 2 項 1 目 1 事業 ごみ処理業務費

予算額	64,215千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	6,450千円	町債	0千円	その他	86千円	一般財源	57,679千円
決算額	59,244千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	5,577千円	町債	0千円	その他	68千円	一般財源	53,599千円

計画 (PLAN)

主な事業	離島ごみ処理施設維持管理事業	海岸漂着物等地域対策推進事業
事業内容	離島最終処分場汚水処理施設管理業務 離島最終処分場管理業務 離島事業系ごみ収集運搬（島外搬出） 離島可燃ごみ収集運搬（フェリー運休時対応） ダイオキシン類排出実態調査 離島最終処分場汚水処理施設維持修繕 篠島最終処分場側溝設置工事	住民や観光客の憩いの場となっている町内海水浴場等に漂着したごみ対策として、定期的に海岸清掃を実施し、海岸及び自然環境の保全に努めます。
基本施策① ※①	3-7 心と体安らぐ自然・住環境	3-7 心と体安らぐ自然・住環境
基本施策② ※①	3-4 安心な暮らしを支えるインフラ	2-4 何度も訪れたい観光・交流
基本施策③ ※①	4-4 持続可能な行財政運営	1-1 地域で大切にしている子育て環境
重点政策 ※②	1 2 ③	① ② ③

実施 (DO)

主な事業	離島ごみ処理施設維持管理事業	海岸漂着物等地域対策推進事業
予算額	52,353,000円	7,116,000円
決算額	49,821,980円	6,128,469円
財源（一般財源）	49,753,982円	551,469円
（その他）	67,998円	5,577,000円
執行率	95.2%	86.1%
事業実績	離島最終処分場の適正な管理ができた。	内海・山海・篠島・日間賀島海岸の漂着ごみを51,910kg回収できた。

評価 (CHECK)

事業指標	最終処分場放流水ダイオキシン類排出実態調査	海岸漂着物等地域対策推進事業の実施
目標値	10pg-TEQ/l以下	5か月
実績値	10pg-TEQ/l以下	5か月
達成度	達成	達成
担当課評価 ※③	最終処分場の適正な管理ができた。	漂着ごみを回収でき、きれいな海岸が維持できた。
基本施策有効評価（妥当性） ※④	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い
費用対効果評価（効率性） ※④	低い 1 2 3 ④ 5 高い	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い

改善 (ACTION)

課題	最終処分場汚水処理施設の老朽化により修繕費が増大する。	台風や大雨の予想が難しく、漂着ごみ量の増減が激しい。
改善・対応策	補助金と分割修繕の検討を行う。	過去データを基に発生量を見込み、計画を策定する。
推進方針 ※⑤	B	A

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価（妥当性）…基本施策に対する有効性の高低（効率性）…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和2年度 事業評価書

事業概要

適切なごみの収集及びごみ減量化のため、指定ごみ袋の作成販売、エコステーションの設置と運営をします。

担当課 環境課
環境衛生係 内線523・525

予算科目 4 款 2 項 1 目 2 事業 ごみ減量収集対策事業費

予算額	38,564千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	1,746千円	町債	0千円	その他	29,175千円	一般財源	7,643千円
決算額	36,729千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	1,673千円	町債	0千円	その他	18,113千円	一般財源	16,943千円

計画 (PLAN)

主な事業	ごみ収集対策事業	ごみ減量化対策事業
事業内容	指定ごみ袋作成事業 小動物死骸処理事業 ごみ集積所整備事業	がんばるごみ減量報奨金 古紙・びん等回収促進事業 エコステーション事業(新規) 生ごみ堆肥化容器等設置奨励補助
基本施策① ※①	3-7 心と体安らぐ自然・住環境	3-7 心と体安らぐ自然・住環境
基本施策② ※①	1-1 地域で大切に育てる子育て環境	1-1 地域で大切に育てる子育て環境
基本施策③ ※①	4-4 持続可能な行財政運営	4-4 持続可能な行財政運営
重点政策 ※②	① 2 ③	① 2 ③

実施 (DO)

主な事業	ごみ収集対策事業	ごみ減量化対策事業
予算額	20,962,000円	9,778,000円
決算額	20,033,040円	9,215,886円
財源(一般財源)	2,182,540円	7,280,139円
(その他)	17,850,500円	1,935,747円
執行率	95.6%	94.3%
事業実績	○可燃ごみ用指定ごみ袋(黄色)作成 45L:84万枚、30L:23万枚、15L:2万枚 ○可燃ごみ用指定ごみ袋(ピンク色)作成 45L:49.5万枚、30L:32.5万枚、15L:6万枚 ○プラスチック製容器包装用指定ごみ袋 (緑色)作成 45L:17.5万枚、30L:7.5万枚	古紙・びん等回収 実施団体 10団体 回収量 393,150kg エコステーション 師崎地区 回収量 49,880kg 豊浜地区 開設準備(R3.4開始)

評価 (CHECK)

事業指標	家庭系ごみの1人1日当たりごみ量 (R4目標 573g)	家庭系ごみのリサイクル率 (R4目標 23.1%)
目標値	662g	21.7%
実績値	943g	20.7%
達成度	未達成	未達成
担当課評価 ※③	ごみ有料化前の駆け込み排出により、1人当たりのごみ量が激増したが、一時的なものと考えている。	目標値には達しないものの、エコステーションの開設効果があり、資源回収が進んだ。
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 2 3 ④ 5 高い	低い 1 2 3 ④ 5 高い

改善 (ACTION)

課題	指定ごみ袋有料化や分別方法変更の説明会が、コロナ感染対策もあり実施できず、ごみ減量化通信を毎月発行し周知を図ったが、深く理解してはもらえなかった。	生ごみのたい肥化と水切りが浸透していない。
改善・対応策	広報、ごみ減量化通信、町公式ホームページなどにより、周知を進めるとともに、コロナの状況により、説明会を検討する。	広報、ごみ減量化通信、町公式ホームページなどにより、周知を進める。
推進方針 ※⑤	B	A

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価(妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和2年度 事業評価書

事業概要 篠島、日間賀島のし尿収集及び、両島のし尿、浄化槽汚泥を処理施設まで運搬します

担当課 環境課
環境衛生係 内線523・525

予算科目 4 款 2 項 2 目 1 事業 し尿処理業務費

予算額	51,313千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	890千円	一般財源	50,423千円
決算額	51,153千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	878千円	一般財源	50,275千円

計画 (PLAN)

主な事業	離島し尿等収集・運搬業務		
事業内容	地方公共団体の責務であるし尿等の収集業務を行います。 また、し尿等を知多南部衛生センター（美浜町地内）まで運搬する業務を委託します。		
基本施策① ※①	3-7	心と体安らぐ自然・住環境	
基本施策② ※①	3-4	安心な暮らしを支えるインフラ	
基本施策③ ※①	4-4	持続可能な行財政運営	
重点政策 ※②	1	2	③

実施 (DO)

主な事業	離島し尿等収集・運搬業務	
予算額	51,313,000円	
決算額	51,152,950円	
財源（一般財源）	50,274,840円	
（その他）	878,110円	
執行率	99.7%	
事業実績	篠島と日間賀島のし尿収集及びし尿、浄化槽汚泥を処理施設まで運搬した。	

評価 (CHECK)

事業指標	し尿収集、運搬の実施		
目標値	2島		
実績値	2島		
達成度	達成		
担当課評価 ※③	篠島と日間賀島のし尿等を適正に収集運搬できた。		
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い	1 2 3 4 ⑤	高い
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い	1 2 3 ④ 5	高い

改善 (ACTION)

課題	両島の旧し尿焼却施設の撤去に多大な費用がかかる。	
改善・対応策	国等に補助メニュー創設を要請する。	
推進方針 ※⑤	B	

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価(妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和2年度 事業評価書

事業概要

ごみ処理の広域化を推進するため、知多南部地域の2市3町（半田市、常滑市、武豊町、美浜町、南知多町）で設置する知多南部広域環境組合への分担金を支出します

担当課 環境課
環境衛生係 内線523・525

予算科目

4 款 2 項 3 目 1 事業 知多南部広域環境組合分担金

予算額	46,836千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	46,836千円
決算額	46,836千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	46,836千円

計画 (PLAN)

主な事業	知多南部広域環境組合分担金		
事業内容	ごみ処理の広域化を推進するため、知多南部地域の2市3町（半田市、常滑市、武豊町、美浜町、南知多町）で設置する知多南部広域環境組合への分担金を支出します。		
基本施策① ※①	3-7	心と体安らぐ自然・住環境	
基本施策② ※①	3-4	安心な暮らしを支えるインフラ	
基本施策③ ※①	4-4	持続可能な行財政運営	
重点政策 ※②	1	2	③

実施 (DO)

主な事業	知多南部広域環境組合分担金	
予算額	46,836,000円	
決算額	46,835,763円	
財源（一般財源）	46,835,763円	
（その他）	0円	
執行率	100.0%	
事業実績	ごみ処理の広域化を推進するため、知多南部広域環境組合への分担金を支出した。令和4年4月1日の供用開始に向け、広域環境センター（愛称：ゆめくりん）の建設工事を継続中である。	

評価 (CHECK)

事業指標	ごみ処理の広域化を推進するための分担金の支払い		
目標値	4回/年		
実績値	4回/年		
達成度	達成		
担当課評価 ※③	供用開始に向け、順調に工事が進んでいる。知多南部クリーンセンター内に開設予定の中継施設の協議の進捗が遅い。		
基本施策有効評価（妥当性） ※④	低い	1 2 3 4 ⑤	高い
費用対効果評価（効率性） ※④	低い	1 2 3 4 ⑤	高い

改善 (ACTION)

課題	ごみ受入基準を早く確定させ、周知する必要がある。中継施設の協議の進捗が遅い。	
改善・対応策	広域環境組合、衛生組合との協議をさらに加速する。	
推進方針 ※⑤	B	

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価（妥当性）…基本施策に対する有効性の高低（効率性）…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討